

2008年8月13日
株式会社みずほコーポレート銀行

中国現地法人 武漢支店の開設準備認可の取得について
邦銀初 中国内陸部への営業拠点開設へ

株式会社みずほコーポレート銀行（頭取：齋藤 宏）の100%子会社である中国現地法人「みずほコーポレート銀行（中国）有限公司」が、中国銀行業監督管理委員会宛に提出していた中華人民共和国湖北省武漢市における支店開設準備申請が、2008年8月7日付で正式に認可されました。これを受け、08年度下期の支店開設を目指して具体的な準備作業を開始致します。

武漢支店は邦銀で初めて中国内陸部に設立される営業拠点で、湖北省、四川省、重慶市、江西省等のお客さまに対して身近に各種金融サービスを提供することを目的としております。これら中西部経済圏は上海等の長江デルタ、深圳等の珠江デルタ、大連等の環渤海等の沿海経済圏に続く重点発展エリアとして現在中国政府が注力している地域です。日系企業も大手自動車メーカーをはじめとした各企業の進出が続き、今後の発展が期待されています。

武漢支店は、みずほコーポレート銀行（中国）有限公司の現行8拠点（上海本店、深セン、大連、北京、無錫、天津、青島の各支店、大連経済技術開発区出張所）及び、08年度上期開業予定の広州支店に続く10番目の営業拠点となる予定です。これにより当行グループは中国（除く台湾、香港）において、当行4駐在員事務所（広州、武漢[共に支店開設後閉鎖予定]、廈門、南京）も含め充実したネットワークを有することになります。今後も機動的な拠点展開を行うことで、お客さまの事業展開を万全の形でサポートする体制を整えてまいります。

以 上